

学外研修報告

第 42 回分析機器 NMR ユーザーズミーティング 参加報告

共通機器部門 藤高 仁

1. はじめに（目的等）

自然科学系分野における核磁気共鳴装置（以後 NMR と略す）の操作・保守管理の基礎知識と共に最新の分析技術の習得及び意見交換を行い、教育・研究支援のためのスキルを向上させることを目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：令和 元年 11 月 15 日

場所：千里ライフサイエンスセンター（豊中市）

3. 参加者等

大学、研究所、民間会社の NMR 分析に携わる技術者及び研究者 約 200 名

4. 研修内容

聴講した講習・講演の内容は以下の通りである。

新技術紹介、NMR の GMP 対応、PureshiftNMR 技術、固体 NMR の測定実例、コールセンターによくある質問、ESR の基礎として応用、低周波 NMR の挑戦。生薬・天然薬物の混合解析へ。

5. まとめと感想

医薬品開発に必要な GMP 規格について学び本学の装置が対応装置であることが確認できた。基礎講座では PureshiftNMR 技術の活用について、近年増えている大きな分子に活用できることを学んだ。固体 NMR では固体測定において物質の運動性を考慮して測定シーケンスを選択することが詳しく紹介された。コールセンターによくある質問では日頃の装置運用においてちょっとした落とし穴が多数紹介されており大変参考になった。その他にも新しい測定やアタッチメントの紹介があったが最新の機種を中心に話がされるので機種更新が重要であると感じている。